資料１－４

白井市第５次総合計画後期基本計画
タウンミーティング
実施報告書

令和元（2019）年 10 月

１　実施概要

（１）開催概要

タウンミーティングの実施状況について、以下表に示す。

表　タウンミーティングの実施内容

開催日	時間	会場	人数
９月 21 日（土）	10：00～12：00	公民センター	４人
	15：00～17：00	白井コミュニティセンター	３人
９月 28 日（土）	10：00～12：00	白井駅前センター	５人
	15：00～17：00	西白井複合センター	２４人
９月 29 日（日）	10：00～12：00	桜台センター	１４人
	15：00～17：00	冨士センター	２人
			合計　５２人

（２）内容

１）はじめに　タウンミーティングの趣旨について

２）市長から　あいさつ及び総合計画及び市の現状、住民意識調査結果（速報版）概要についての説明

３）ワークショップ

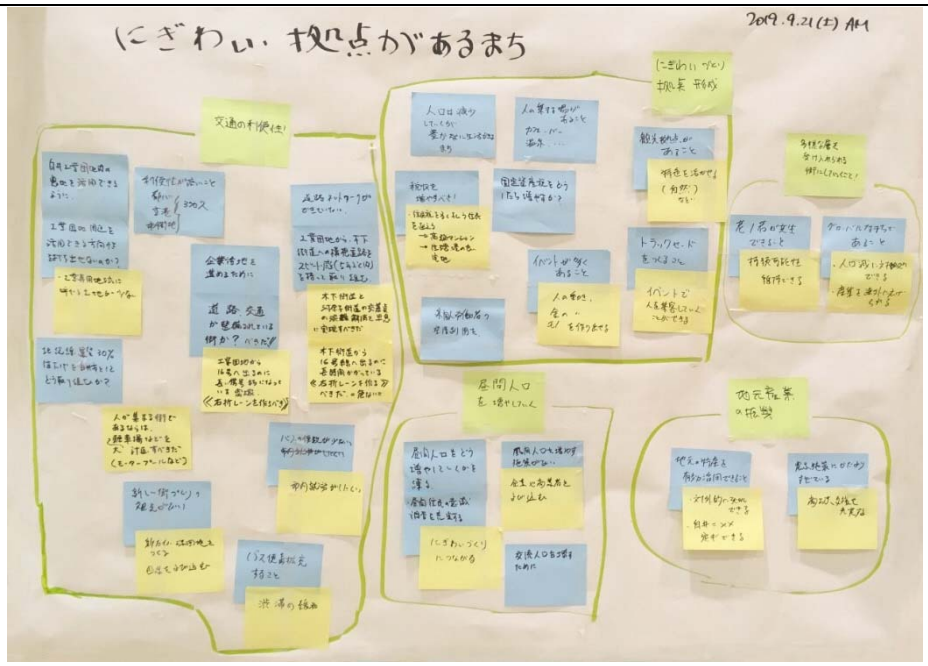
テーマ：「白井市の将来像を実現するために重要なことについて意見交換しよう」

◆グループ討議

◆グループによる発表

４）市長からのコメント

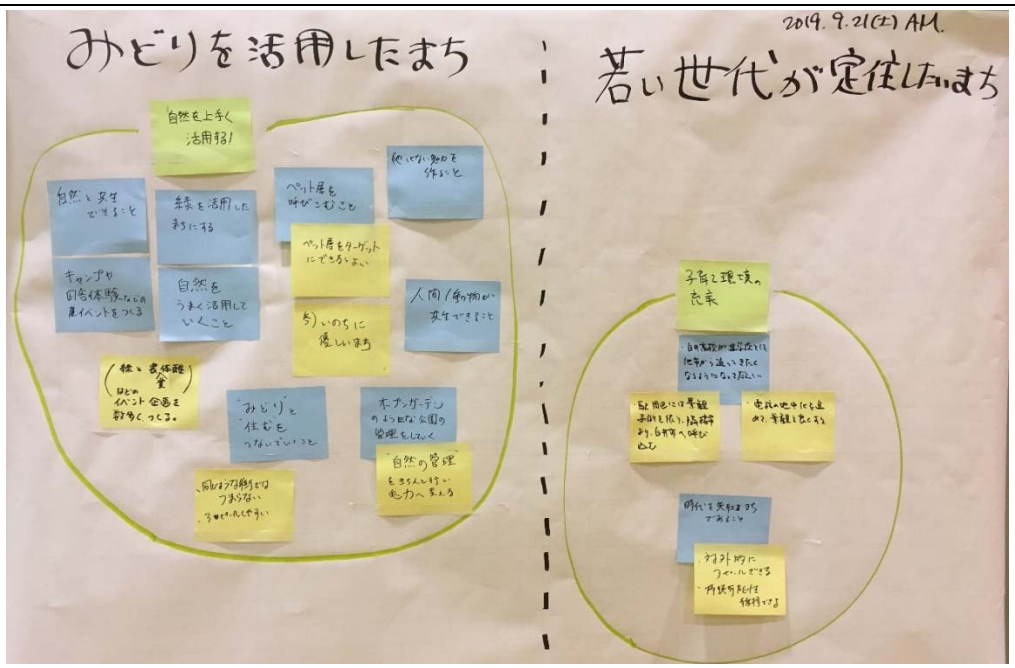
≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 21 日（土）午前　公民センター



にぎわい・拠点があるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【交通の利便性】 ◆白井工業団地内の農地を活用できるように ◆工業団地周辺を活用できる方向性を打ち出せないのか？ →工業専用地域に呼べる土地が少ない ◆利便性が高いこと　都心・空港・市街地：アクセス ◆企業誘地を進めるために　道路交通が整備されている街か？べきだ！！ →工業団地から 16 号へ出るのに長い信号待ちになっている富塚《右折レーンを作るべき》 ◆道路ネットワークができていいない ◆工業団地から木下街道への構想道路をスピード感（５年以内）を持って取り組む →木下街道と河原子街道の交差点の混雑解消を早急に実現すべきだ →木下街道から 16 号線へ出るのに長時間かかっている《右折レーンを作る》べきだ。=危ない= ◆北総線運賃 30%値下げを白井市としてどう取り組むか？ ◆新しい街づくりの視点がない　→新たな工業団地をつくる　企業をよび込む →人が集まる街であるならば大駐車場などを計画すべきだ（モータープールなど） ◆バスの便数が少ない→市内就労がしにくい ◆バス便を拡充すること　→渋滞の緩和
【にぎわいづくり・拠点形成】 ◆人口は減少していくが豊かに生活ができるまち ◆人の集まる場があること カフェ・バー・温泉… ◆観光拠点があること　→特色を活かせる（自然など） ◆税収を増やすべき！　→住民税を多く払う住民を迎える（高級マンション・住環境の良い宅地） ◆固定資産税をどうやって増やすか？ ◆外国人労働者の空家利用を

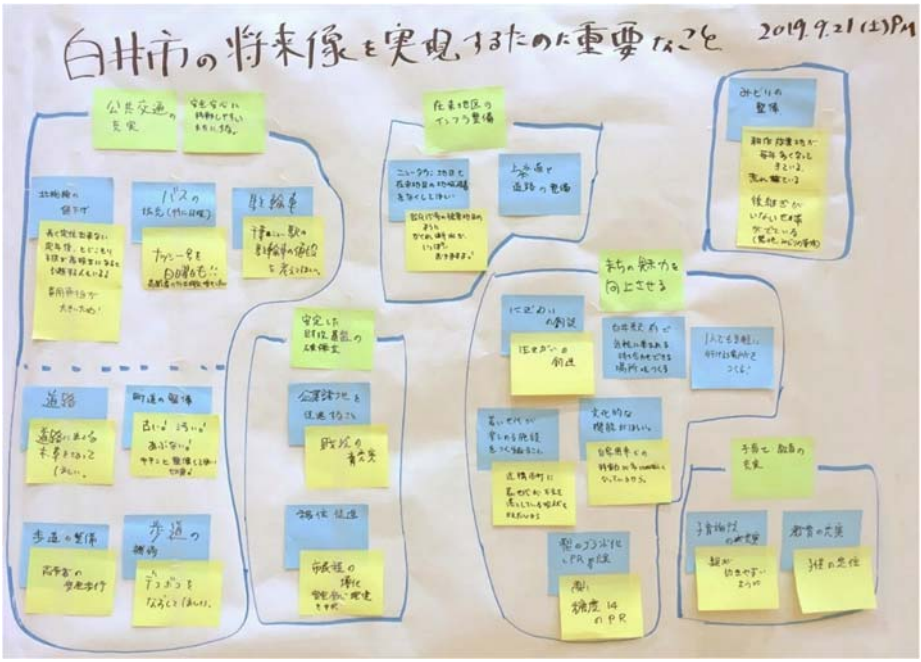
にぎわい・拠点があるまち
◆実現するために重要なこと 　→その理由
◆イベントが多くあること　→人の動き　金の動き　モノを作り出せる ◆トラックヤードをつくること　→イベントで人を集客していくことができる
【多様な層を受け入れられる街にしていくこと!】 ◆老/若が共生できること　→持続可能性を維持できる ◆グローバルなまちであること　→人口減に対処できる　産業を海外に広げられる
【昼間人口を増やしていく】 ◆昼間人口を増やす施策がない　→企業や商業者を呼び込む ◆昼間人口をどう増やしていくかを練る　昼間住民の意識調査を充実する 　→にぎわいづくりにつながる ◆交流人口を増やすために
【地元産業の振興】 ◆農業施策にかたよりすぎている　→商工業支援を充実する ◆地元の特産を有効活用できること　→対外的に発信できる、白井に××定義できる

≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 21 日（土）午前　公民センター



みどりを活用したまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【自然を上手く活用する！】 ◆他にない魅力を作る事 ◆人間/動物が共生できること ◆ペット層を呼びこむこと　→ペット層をターゲットにできるとよい（参）いのちに優しいまち ◆自然と共生できること ◆キャンプや田舎体験などのイベントをつくる ◆緑を活用したまちにする ◆自然をうまく活用していくこと →緑と農業体験などのイベント企画を数多くつくる。 ◆オープンガーデンのような公園の管理をしていく →“自然の管理”をきちんと行い魅力へ変える ◆“みどり”と“住む”をつないでいくこと →同じような街ではつまらない　アピールしやすい
若い世代が定住したいまち
【子育て環境の充実】 ◆白井高校が進学校として他市から通ってきたくなるようになって欲しい →駅周辺には景観条例を作り、隣接市より、白井市へ呼び込む →電柱の地中化を進めて景観を良くする ◆時代を先取るまちであること　→対外的にアピールできる　持続可能性を維持できる

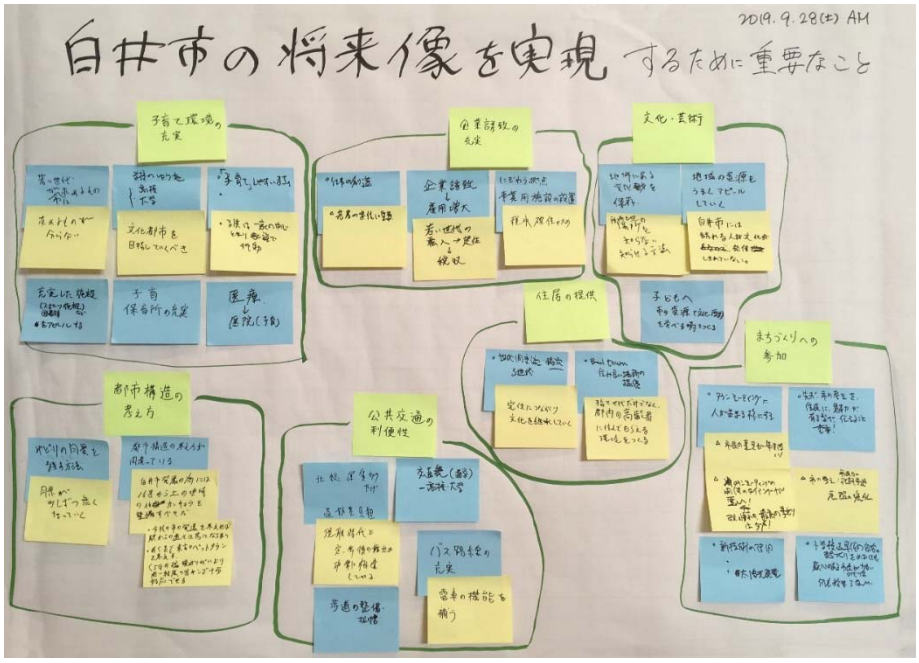
≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 21 日（土）午後　白井コミュニティセンター



白井市の将来像を実現するために重要なこと
◆実現するために重要なこと →その理由
【公共交通の充実・安全安心に移動しやすいまちにする】 ◆北総線の値下げ　→長く定住出来ない 定年後とじこもり子供が高校生になると引っ越しする人もいる！ →費用負担が大きいため！ ◆バスの拡充（特に日曜）　→ナッシー号を日曜日も！！高齢者の外出機会を増やしたい ◆駐輪場　→千葉ニュータウン中央駅の駐輪場の値段を考えてほしい。
◆道路　→道路に出ている木、草を切ってほしい。 ◆町道の整備　→古い！汚い！あぶない！キチンと整備してほしい 切実！ ◆歩道の整備　→高齢者の安全歩行 ◆歩道の補修　→デコボコをなおしてほしい
【安定した財政基盤の確立】 ◆企業誘致を促進すること　→財政の充実 ◆移住促進　→市民税の増加、安全・安心・環境を PR
【在来地区のインフラ整備】 ◆ニュータウン地区と在来地区の地域格差をなくしてほしい →台風 15 号の被害地区のようにかくれ断水がいっぱいおきますよ！ ◆上下水道や道路の整備
◆みどりの整備　→耕作放棄地が毎年多くなってきている。荒れている →後継ぎがいない世帯がでている（農地、みどりの管理）

白井市の将来像を実現するために重要なこと
◆実現するために重要なこと 　→その理由
【まちの魅力を向上させる】 ◆にぎわいの創設　→生きがいの創造 ◆白井駅前で気軽に集まれる、待ち合わせできる場所をつくる ◆１人でも気軽に行ける場所をつくる！ ◆若い世代が楽しめる施設をつくること 　→近隣市町に若い世代がお金を落としている現状を変えたいから ◆文化的な機能が欲しい。　→自家用車での移動が多くなっているから。 ◆梨のブランド化と PR の充実　→梨 糖度 14 の PR
【子育て・教育の充実】 ◆教育の充実　→子供の定住 ◆子育て施設の充実　→親が働きやすいように

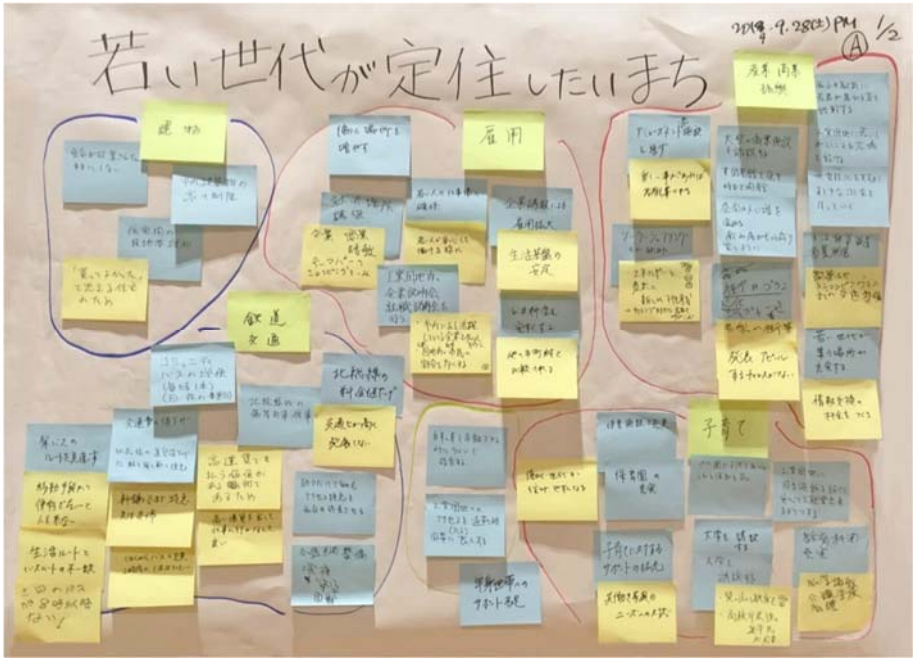
≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 28 日（土）午前　白井駅前センター



白井市の将来像を実現するために重要な事
◆実現するために重要なこと →その理由
【子育て環境の充実】 ◆若い世代が市に求めるもの　→求めるものが分からない ◆学校の誘致（高校・大学）　→文化都市を目指していくべき ◆「子育て」しやすいまちへ　→子どもは一家の中心となり、家族で行動 ◆充実した施設（スポーツ施設 図書館など）をアピールする ◆子育て 保育所の充実 ◆医療⇒医院（子育）
【企業誘致の充実】 ◆仕事の創造　→若者の定住に重要 ◆企業誘致⇒雇用増大　→若い世代の転入⇒定住・税収 ◆にぎわう拠点 事業用施設の設置　→税収確保のため
【文化・芸術】 ◆地域にある文化財を保存　→所在地の場所を知らない 知らせる方法 ◆地域の資源をうまくアピールしていく　→白井市には訪れる人材・文化が発信しきれていない。 ◆子どもへ市の資源（文化・歴史）を学べる場をつくる
【都市構造の考え方】 ◆みどりの風景を残す方法　→風景が少しずつ無くなっていく ◆都市構造の考え方が間違っている →白井市発展の為には 16 号から上の地域の住環境を整備すべきだ →今後の車の発展を考えれば駅からの遠さは苦にならない →あくまで東京のベッドタウンと考える（5G の環境整備により週一程度の出勤で十分対応できる）

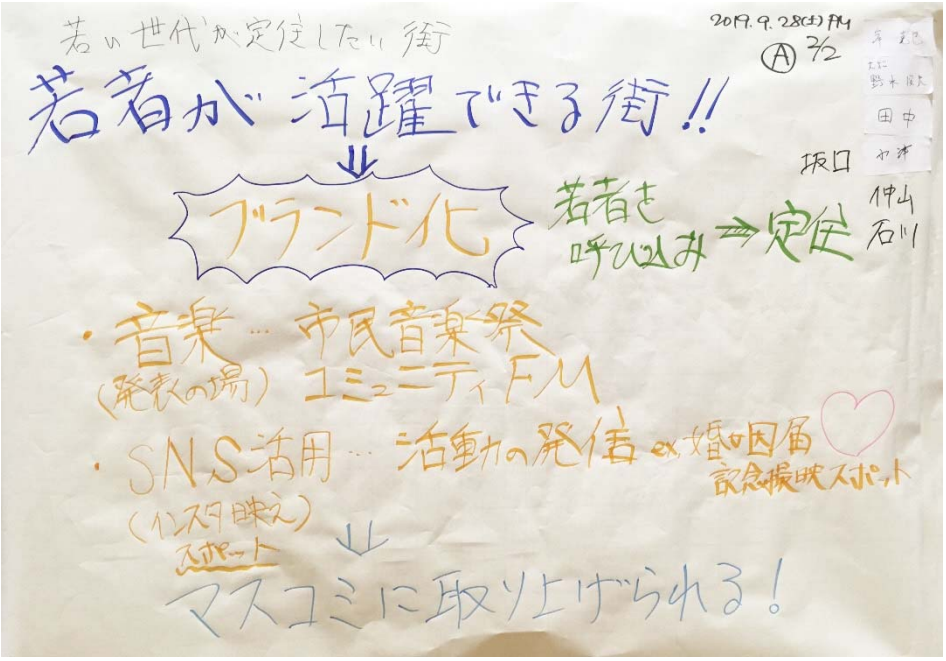
白井市の将来像を実現するために重要な事
◆実現するために重要なこと 　→その理由
【公共交通の利便性】 ◆北総線運賃切り下げ　通勤費負担　→現職時代と定年後の転出が非常に相違している。 ◆交通費（通学）-高校・大学 ◆歩道の整備・拡幅 ◆バス路線の充実　→電車の機能を補う
【住居の提供】 ◆世代間交流　３世代　→定住につながり文化を継承していく ◆Bed town 住み良い場所の提供 　→子育て世代だけでなく、都内の高齢者に住んでもらえる環境をつくる
【まちづくりへの参加】 ◆タウンミーティングに人が集まる様にする 　→市民の意見が集まらない！ 　→タウンミーティングの開催のタイミングが悪い！秋晴れの、最高の季節はダメ！ ◆先ず、市の考えを住民に魅力がある形で伝えることが重要！ 　→市の考え：市民が理解充足　広報の強化 ◆新技術の活用　太陽光発電 ◆小学校区単位の自治・まちづくりを目指しても関心のある市民が少ないのでは何も始まらない。

≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 28 日（土）午後　西白井複合センター　Ａグループ



若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【建物】 ◆空家が放置されたままにしない ◆市内建築物の高さ制限 ◆住宅間の緑地帯増加 →「買ってよかった」と思える住宅のため
【雇用】 ◆働く場所を増やす ◆就労場所確保　→企業　商業　誘致 テーマパーク ショッピングモール ◆若い人の仕事場の確保　→若い人が安心して働ける様に ◆企業誘致による雇用拡大　→生活基盤の安定 ◆工業団地内の企業説明会、就職説明会を行う →市内にある活躍している企業を知ってもらう →工業団地内の白井市民の割合を多くする ◆公共料金を安くする　→他の市町村と比較される
【産業・商業・振興】 ◆アミューズメントな施設を増やす　→楽しい事があれば若者も集まる ◆大型の商業施設を誘致する ◆図書館を夜９時まで開館 ◆昼間の人口増を進める。飲み屋がもっと成り立つように ◆西白井駅前に若者が集まれる店を誘致する ◆工業団地に若い人がいこえる広場を設ける ◆無電柱化をすすめて、すてきな街並みを作っていく ◆ソーラーシェアリングへの補助 →エネルギーと農業へ新しい挑戦⇒チャレンジ好きな若者を呼びこむ　SDGs⑦⑬⑮

若い世代が定住したいまち
◆実現するために重要なこと 　→その理由
◆街のブランド化 シロイガネーゼ等　→音楽の街等 発表・アピールするチャンスがない ◆生活物資調達 商業発展　→商業地⇒ショッピングモールまでの交通整備 ◆若い世代が集う場所が充実する　→情報交換の機会をつくる
【鉄道交通】 ◆コミュニティバスの増便（毎時１本　日・祝の運行） ◆北総線内の優等列車停車 ◆北総線の料金値下げ　→交通費が高く発展しない ◆梨バスのルートを見直す　→移動手段が便利でないと人も来ない 　　→生活ルートとバスルートの不一致 　　→土日のバスが８時以降ない！ ◆交通費の値下げ 北総線の運賃値下げに粘り強く取り組む 　→新鎌ヶ谷まで特急　先は各停 　→循環バスの充実　２時間に１本はひどい 　→高運賃でも払う価値がある街であるため 　→高い運賃を出して仕事に行かなくて良い ◆朝夕だけでもアクセス特急を西白井に停車させる ◆交通網整備 深夜帰宅困難
【子育て】 ◆保育施設の充実 保育園の充実　→働く世代が住みやすくなる ◆園で子供をあずけられる体制を築く ◆工業団地に保育施設を設けて安心して就業できるようにする ◆子育てに対するサポートの拡充　→共働き家庭のニーズへの対応 ◆大学を誘致する　→質の高い教育を 　　高校卒業後の進学先が必要　SDGs④ ◆教育機関の充実　→私学誘致 介護、看護学校
◆自転車を分離できるようにラインで指定する ◆工業団地へのアクセス（バス）を通勤時間帯に良くする ◆単身世帯へのサポート不足



若い世代が定住したいまち

若者が活躍できる街！！

ブランド化

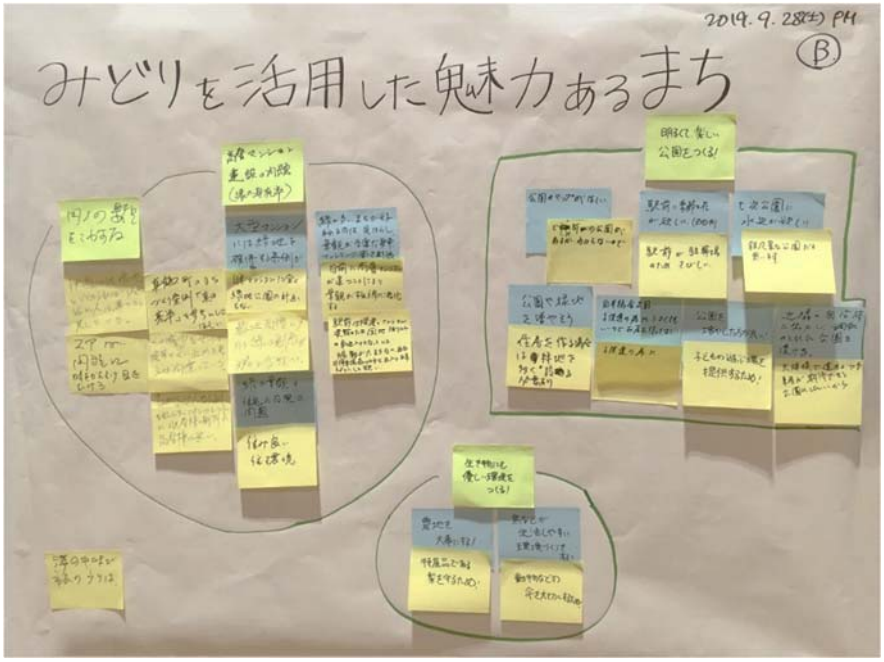
若者を呼び込み → 定住

●音楽（発表の場）… 市民音楽祭
コミュニティ FM

●SNS 活用（インスタ映えスポット）… 活動の発信
ex 婚姻届♡記念撮影スポット

マスコミに取り上げられる！

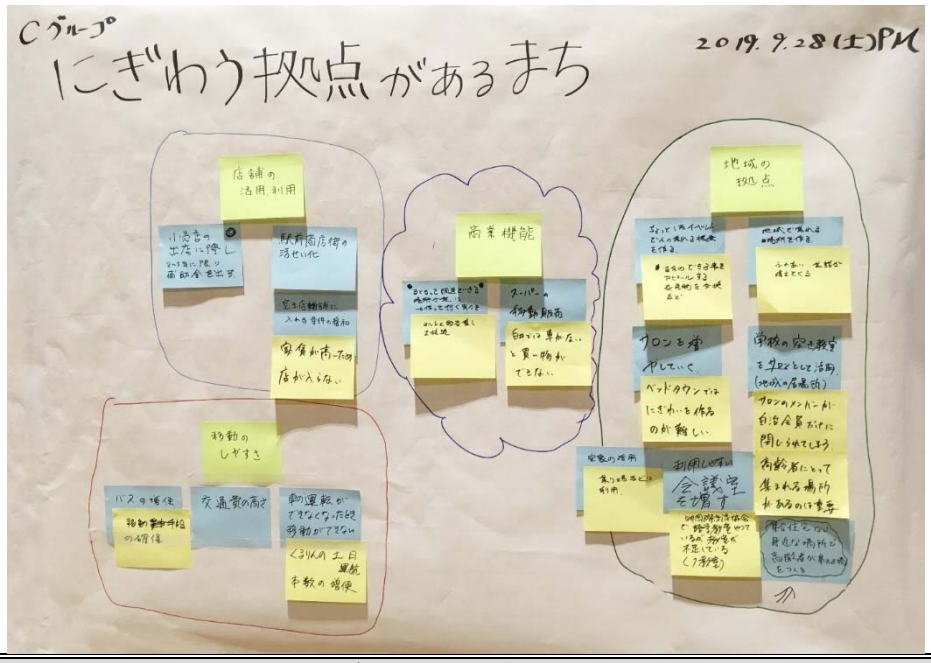
≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 28 日（土）午後　西白井複合センター　Ｂグループ



みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【高層マンション建設の問題（緑の専有率）】【景観をこわすな】 ◆大型マンションには緑地を確保する条例が必要 →快適な住環境をととのえれば必然的に人は集まると考えるべき。 →真鶴町のまちづくり条例「美の基準」を参考にしてほしい →自前マンションに全く緑地公園の計画もない →コアな問題に耳をかたむけ目をむける →人口減少をマンション建築でくい止める考えは間違っている。 →敷地面積に占める緑の割合が３%と少ない →旧白井町総合計画を記したパンフレットに低層棟の南側に高層棟は無い。 ◆緑の多いまちが好まれるのは、見はらし、景観が重要な要素 マンションの高さ制限が必要 →目前に高層マンションが建つことにより景観が極端に悪化する →駅前 15 階建てマンション建設のため団地側のみの車の出入りとなっている 振動がたまらない 西白井停車場通りの方も出入り出来るようにして欲しい。 ◆緑の景観と住宅の日照の問題　→住み良い住環境
【明るくて楽しい公園をつくる！】 ◆公園のマップがほしい　→どこに何の公園があるかわからないので ◆駅前に季節の花が欲しい（西白井）　→駅前が駐輪場のためさびしい ◆七次公園に水辺が欲しい　→殺風景な公園だと思います ◆公園や緑地を増やそう　→住居を作る場合は緑地を多く設ける必要あり ◆白井総合公園用 子供達の為に小さくても良いのでお庭を作ってほしい　→子供達の為に ◆公園を増やした方が良い！　→子どもの遊ぶ場を提供するため！ ◆近隣の自治体と協力し調和のとれた公園を設ける。 →大規模で遠方からも来客が期待できる公園にしたいから

みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと 　→その理由
【生き物にも優しい環境をつくる！】 ◆農地を大事にする！　→特産品である梨を守るため！ ◆鳥などが生活しやすい環境づくりをする！　→動物などの命を大切にするため！
予算の中味で市長のウリは

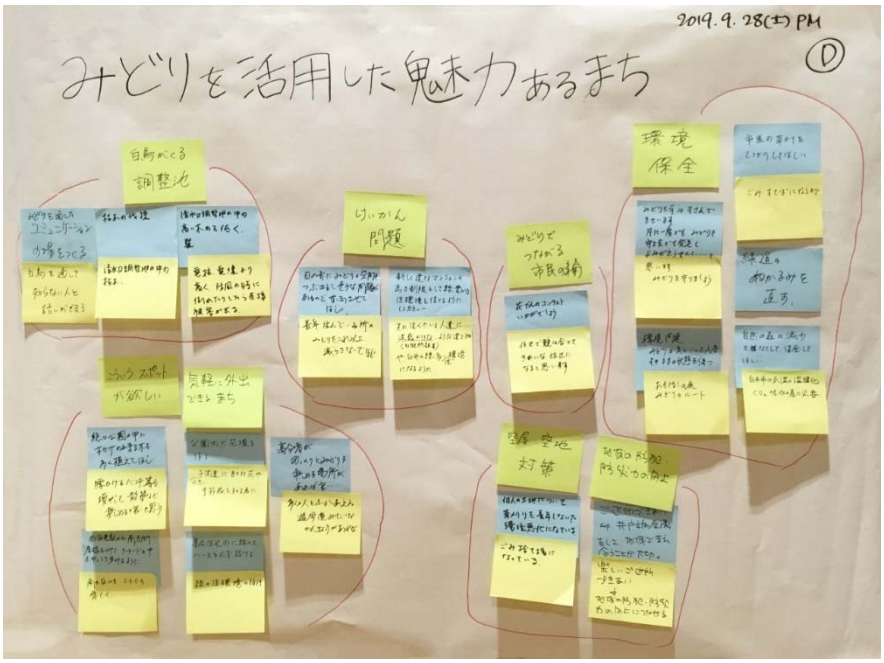
≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 28 日（土）午後　西白井複合センター　Ｃグループ



にぎわう拠点があるまち
◆実現するために重要なこと 　→その理由
【店舗の活用、利用】 ◆小売店の出店に際し２～３年に限り補助金を出す ◆駅前商店街の活性化 ◆空き店舗に入れる条件の緩和　→家賃が高いため店が入らない
【商業機能】 ◆まとまって調達できる場所が無い⇒作って行く努力を　→マルシェ的な催しを拡張 ◆スーパーの移動販売　→白井では車がないと買い物ができない
【地域の拠点】 ◆ちょっとしたイベントで人の集まれる機会を作る 　→自分の出来る事をアピールする 成果物を交換など ◆地域で集まれる場所を作る　→ふれあい、会話が増えてくる ◆サロンを増やしていく　→ベッドタウンではにぎわいを作るのが難しい ◆学校の空き教室をサロン（地域の居場所）として活用 　→サロンのメンバーが自治会員だけに閉じられてしまう 　→高齢者にとって集まれる場所があるのは重要 ◆空家の活用　→集まる場などに利用 ◆利用しやすい会議室を増やす 　→白井国際交流協会で語学教室をやっているが教室が不足している（７教室） ◆集合住宅など身近な場所で高齢者が集える場をつくる

にぎわう拠点があるまち
◆実現するために重要なこと 　→その理由
【移動のしやすさ】 ◆バスの増便　→移動手段の確保 ◆交通費の高さ ◆車の運転ができなくなったとき移動ができない　→くるりんの土日運航 本数の増便

≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 28 日（土）午後　西白井複合センター　Ｄグループ



みどりを活用した魅力あるまち

◆実現するために重要なこと
→その理由

【白鳥がくる調整池】

◆みどりを通したコミュニケーションの場をつくる
　→白鳥を通して知らない人と話しができる

◆枯木の伐採　→清水口調整池の中の枯木

◆清水口調整池の中の高い木を低く
　→電柱電線より高く、防風の時に倒れたりしたら直接被害が出る

【景観問題】

◆目の前にみどりの空間をつぶされそうな問題があるのですっきりさせてほしい
　→長年住んでいる所のみどりをこれ以上減らさないでほしい

◆新しく立てるマンションの高さ制限をして緑豊かな住環境を保てるようにして欲しい
　→先に住んでる人達に迷惑かけない（日照問題等）ような建物や白井の緑多い住環境になるように

【みどりでつながる市民の輪】

◆花だんのコンテストいかがでしょう　→住区で競い合ってきれいな住区になると思います

【環境保全】

◆市道の草かりをしっかりしてほしい　→ごみすてばになるので

◆みどりも年々すさんできています。月に一度でもみどりを守る会でも発足しよみがえらせたらいいと思います。みどりを守りましょう。

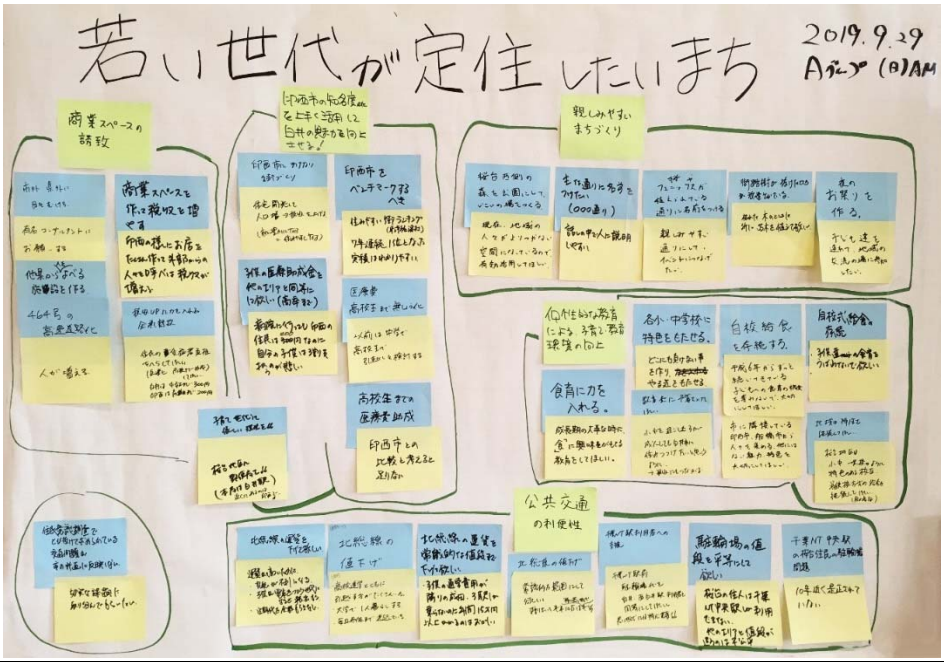
◆緑道のぬかるみを直す

◆環境問題みどりが気に入って入居 そのままの状態を保つ　→おもてなしの庭 みどりのルート

◆自然の森の減少をなくして保全してほしい　→白井市の気温の温暖化 CO2 呼吸の為に必要

【こういうスポットが欲しい】【気軽に外出できるまち】 ◆総合公園の中に木かげの出来る木を多く植えてほしい 　→腰かけるベンチ等も増やして散策など楽しめると良いと思う ◆公園内に花壇を作る　→小さい子供達に色々な花や季節感を知る為に ◆高齢者がゆっくりとみどりを楽しめる場所があれば良い 　→多くの人とふれあえる遊歩道みたいな環境があれば ◆西白井駅から商店街に屋根をつけてアーケードの中をゆっくり歩けるように 　→雨の日にもふらふら楽しく ◆集合住宅内に緑のスペースを必ず設ける　→緑の住環境の維持
【空家・空地対策】【地域の防犯・防火力の向上】 ◆個人の土地について草刈りを長年しないで環境悪化になっている　→ごみ捨て場になっている ◆ご近所付き合い、井戸端会議をして地域で支え合うことが大切 　→楽しいご近所付き合い⇒地域の防犯、・防火力の向上につながる

≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 29 日（日）午前　桜台センター　Ａグループ



若い世代が定住したいまち

◆実現するために重要なこと
**　→その理由**

【商業スペースの誘致】

◆市外、県外に目をむける　→有名コンサルタントにお願いする

◆商業スペースを作って税収を増やす

　→印西の様にお店をたくさん作って外部からの人々を呼べば税収が増える

◆他県から人を呼べる施設を作る 464 号の高速道路化　→人が増える

◆税収 UP に力を入れる 企業誘致

　→住民の受益者負担をへらしてほしい（医療費 高校まで助成してほしい）

　　白井は中学生まで 300 円、印西は高校生まで 200 円

【印西市の知名度 etc を上手く活用して白井の魅力を向上させる！】

◆印西市にまけない街づくり

　→住宅開発して人口増⇒税収を上げる（市が豊かになる＝住みやすくなる）

◆印西市をベンチマークするべき

　→住みやすい街ランキング（東洋経済社） 7 年連続 1 位となった実績はわかりやすい

◆子供の医療助成金を他のエリアと同等にして欲しい（高卒まで）

　→病院に行っても印西の住民は 200 円なのに自分の子供は三割支払うのが悲しい

◆医療費高校生まで無償化　→高校生で引っ越しを検討する

◆子育て世代に優しい環境を！！

　→桜台地区に郵便局を！！（本局は白井駅 近くにあるのは印西）

◆高校生までの医療費助成　→印西市との比較を考えると足りない

【親しみやすいまちづくり】

◆桜台西側の森を公園にして、いこいの場をつくる

　→現在地域の人々がよりつかない空間になっているので有効活用してほしい

◆主な通りに名前をつけたい（〇〇通り）　→話しの中で人に説明しやすい
◆桜やフェニックスが植えられている通りに名前をつける
　→親しみやすい通りにして、イベントにつなげたい
◆街路樹が抜けたところが放置されている　→枯れた木のところに新しい苗木を植えて欲しい
◆夜のお祭りを作る　→子ども達を連れて、地域の交流の場に参加したい

【個性的な教育による子育て・教育環境の向上】
◆各小・中学校特色をもたせる　→どこにも負けない事を作り、やる気をもたせる
◆自校給食を存続する
　→平成６年からずっと続いてきている子どもへの食育の機会を奪わないで、大切にしてほしい。市に隣接している印西市、船橋市から人々を集める。他にはない魅力、特色を大切にしてほしい。
◆自校式給食の存続　→子供達の食育をうばわないで欲しい
◆食育に力を入れる　→成長期の大事な時に、「食」に興味がもてる教育をしてほしい。
◆教育費に予算をつけてほしい
　→小中を過ごした子が成人しても白井市に住み続けたいと思うように→税収にもつながる
◆地域の特性を継続してほしい
　→桜台地区は小中一貫校のように特色のある校区、単独校方式の給食も継続してほしい（食の安全）

【公共交通の利便性】
◆北総線の運賃を下げて欲しい　→運賃が高いために
　・就職が不利になる
　・子供が電車をつかう世代になると転出する
　・定期代を全額もらえない
◆北総線の値下げ　→高校進学とともに引っ越す方がたくさんいる
　大学で１人暮らしする
　毎日布佐まで送迎している
◆北総線の運賃を常識的な値段まで下げて欲しい
　→子供の通学費用が隣の成田３駅しか乗らないのに年間 15 万円以上かかるのはおかしい
◆北総線の値下げ　→常識的な範囲にして欲しい
　学割きいて１年 10 万円は特に若い世代はキツイ
◆千葉 NT 駅利用者への支援
　→千葉 NT 駅前駐輪場代を白井・西白井駅利用者と同等にしてほしい。若い世代には特に重要！
◆駐輪場の値段を平等にして欲しい
　→桜台の住人は千葉 NT 中央駅しか利用できない。他のエリアと値段が違うのは不公平
◆千葉 NT 中央駅の桜台住民の駐輪場問題　→10 年近く是正されていない

◆住民意識調査でとび抜けて求められている交通問題が市の計画に反映しない
　→切実な課題に取り組んでもらいたい

≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 29 日（日）午前　桜台センター　Ｂグループ

みどりを活用した魅力あるまち
◆実現するために重要なこと 　→その理由
【みどりにふれたくなるように・・・】 ◆みどりの情報発信　→皆どこにみどりがあるのか知らない ◆ウォーキング ランニングマップ　→みどりにふれる みどりを知る
【やっぱり桜台は桜！】 ◆桜並木のせんていを正しく　→見た目が悪くなる ◆464 の桜の整備　→観光資源の活用 ◆今井の桜の整備　→観光資源の活用、今くさい ◆桜トンネルを作る　→観光資源にする 　　市民のプライド UP 　　桜の木が枯れた場合はすぐに桜の木を植える ◆防虫剤をまくなら音頭をとって一斉に　→バラバラだと意味ない ◆桜を利用したイベント
【いこいの場公園】 ◆（むらはた公園？）木刈の公園はキレイ 老人クラブでも使用 ◆空き地に公園の整備　→いこいの場 ◆十余一公園の清掃をしっかり 川がヘドロ油が流れる　→いこいの場になる
【安全安心のために環境保全】 ◆社会保険大学の土地、施設⇒みちの駅にする 　→景観、防犯、安心、もったいない ◆ヤード、解体、キセイ　→景観が悪い ◆北環状線道路の草刈りは　→交通に悪い 　　道路の排水が悪い

【その他】

◆北環道路 はやく通して　→地域医療

◆旧セーブオン～ウェルシアの道どうにか

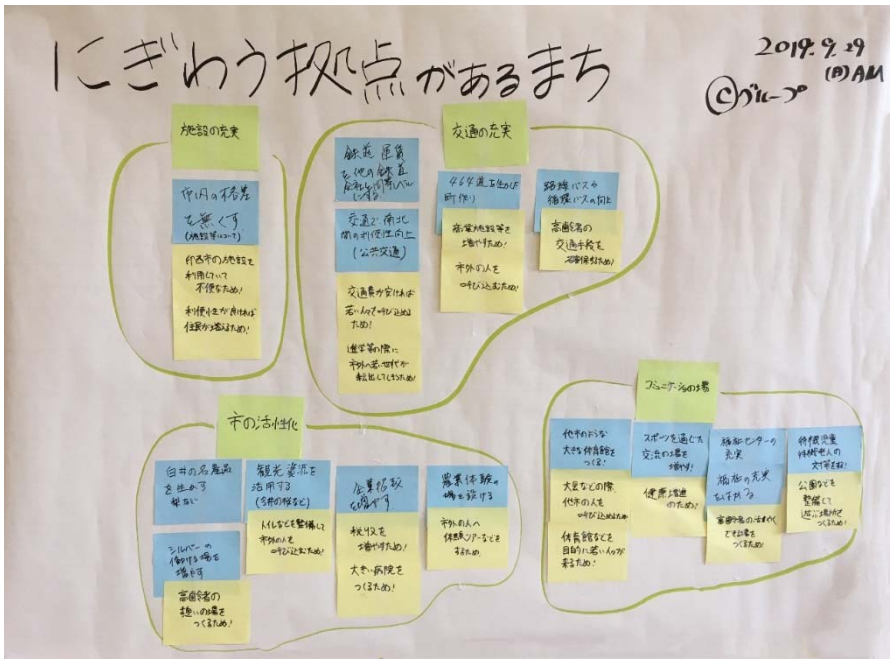
◆印西との関わり 生活圏

◆プレミアム付商品券

◆ナリタヤ、どーするの？

◆464 の下道

≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 29 日（日）午前　桜台センター　Ｃグループ



にぎわう拠点があるまち
◆実現するために重要なこと →その理由
【施設の充実】 ◆市内の格差を無くす（施設等について）　→印西市の施設などを利用していて不便なため！ 利便性が良ければ住民が増えるため！
【交通の充実】 ◆鉄道運賃を他の鉄道会社と同等レベルにする ◆交通で南北間の利便性向上（公共交通） →交通費が安ければ若い人々を呼び込めるため！ →進学等の際に市外へ若い世代が転出してしまうため！ ◆464 道を生かした町作り　→商業施設等を増やすため！ →市外の人を呼び込むため！ ◆路線バスや循環バスの向上　→高齢者の交通手段を確保するため！
【市の活性化】 ◆白井の名産品を生かす 梨など ◆観光資源を活用する（今井の桜など）　→トイレなどを整備して市外の人を呼び込むため！ ◆企業誘致を増やす　→税収を増やすため！ 大きい病院をつくるため！ ◆農業体験の場を設ける　→市外の人へ体験ツアーなどをするため ◆シルバーの働ける場を増やす　→高齢者の憩いの場をつくるため！
【コミュニケーションの場】 ◆他市のような大きな体育館をつくる！　→大会などの際、他市の人を呼び込めるため！ →体育館などを目的に若い人々が来るため！

◆スポーツを通じた交流の場を増やす！　→健康増進のため！
◆福祉センターの充実 福祉の充実をはかる　→高齢者の活躍できる場をつくるため！
◆待機児童、待機老人の対策をする！　→公園などを整備して遊ぶ場所をつくるため！

≪ワークショップの結果≫　2019 年 9 月 29 日（日）午後　冨士センター

若い世代が定住したいまち

◆「実現するために重要なこと」
　→その理由

【若い世代に魅力的なまちづくり】

◆ロードサイドに商業施設が欲しい　→若い人を呼び込むため

◆冨士南園広場はこのままにして　→良い場所だから

　　→公園にするとしばりが強いので広場のままが良い

【地域で子どもを見守る環境づくり】

◆都市計画を見直す 地区を分ける　→住民表示がないとわかりづらい

　　→分かりやすくすることで購入しやすい

　　→市民活動をするにもグループ分けなどしづらい

◆地域で子どもを見守る　→家族を助ける

　　→学童・保育所がパンク状態の為

　　→働く世代を助けるため

◆防災力強化　→地区の防災倉庫などを置く場所がない

　　→家を買うには気にする為

◆病児保育の拡充　→働き盛りにもっと使いやすい制度を

◆空き家の有効活用

みどりを活用した魅力あるまち

【農地の活用】

◆貸し農園の拡大　→休耕地の防止、リタイヤした人の趣味の場

◆農地の管理を適切に行う　→景観の保全 防災防犯のため

【みどりに触れる公園・散歩】

◆散歩コースの整備（ゴルフ場の裏）　→抜け道をスピード上げて通る車が危ない

◆保育園～公園まで歩道整備　→子どもが安全にみどりに触れられるように

◆訪れやすい広い公園の環境づくり
にぎわう拠点があるまち
【世代間交流】 ◆11/23 世代間交流イベント開催 ◆正月　伝承あそびイベント ◆小学校区まち協イベント　高齢者・小学生 ◆高齢者と子どもが集える場をつくる 　→世代を問わない交流の場をつくるため
【見守り・イベント】 ◆子どもの見守りステーションが必要 ◆定期的なイベント開催　→引きこもりをふせぐ為
【集える場】 ◆集える場所が欲しい　→自治会会館がない場所もあるため ◆長時間遊べる場が欲しい　→児童館 17:00 で帰される ◆中高生の児童館利用の促進 　→子ども向けの学習支援を企画しても参加者が少ない・・・（０） 　→中高生にささるイベント（ソフト）、部屋（ハード、バンド部屋、ダンス部屋）